

## 問題

## 3 次関数のグラフ

**242** (1) 関数  $y = x^3 - 12x + 5$  のグラフをえがけ。 (津田塾大)

(2)  $f(x) = -x^3 + 8x + 3$  とするとき、関数  $y = f(x)$  の極値を求め、グラフをかけ。 (東京海洋大 改)

**243**  $x$  についての 3 次関数  $f(x) = x^3 + px^2 + 27x$  がある。 $f(x)$  が単調増加関数となる  $p$  の最大値を求めよ。 (自治医科大)

**244** 3 次関数  $y = x^3 - 3ax + 2$  のグラフが  $x$  軸と一点のみを共有するような  $a$  の範囲を求めよ。 (津田塾大)

**245** 3 次関数  $y = ax^3 + bx^2 + cx + d$  のグラフは、点  $(3, -2)$  に関して対称であり、 $x = 1$  で極大値  $\frac{2}{3}$  をとる。 $a, b, c, d$  の値を求めよ。 (福島大)

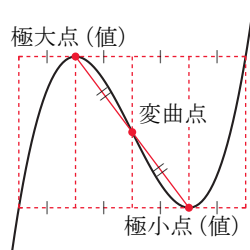
## チェック・チェック

## 3 次関数のグラフ

**242** ~ **245** 3 次関数

$$y = ax^3 + bx^2 + cx + d \quad (a > 0)$$

のグラフは、極大となる点と極小となる点の  
中点 (変曲点という) に関して点対称であり、  
右図のようになります。



## 解答・解説

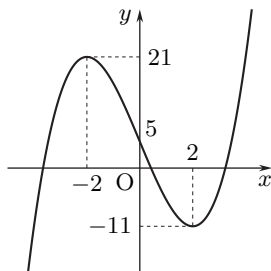
## 3次関数のグラフ

**242** (1)  $y = x^3 - 12x + 5$  より

$$y' = 3x^2 - 12 = 3(x+2)(x-2)$$

下の増減表から、グラフは右図のようになる。

$x$	...	-2	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$	↗	21	↘	-11	↗



(2)  $f(x) = -x^3 + 8x + 3$  より

$$f'(x) = -3x^2 + 8$$

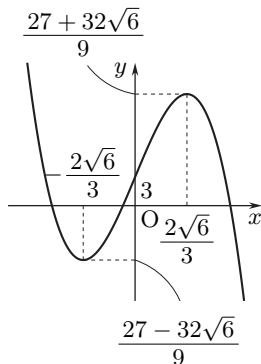
$f'(x) = 0$  を解くと  $x = \pm \frac{2\sqrt{6}}{3}$  だから、 $f(x)$  の増減表は下のようになる。

$x$	...	$-\frac{2\sqrt{6}}{3}$	...	$\frac{2\sqrt{6}}{3}$	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	↘	極小	↗	極大	↘

$f(x) = (-3x^2 + 8) \cdot \frac{1}{3}x + \frac{16}{3}x + 3$  であるから

$$\begin{aligned} \text{極小値 } f\left(-\frac{2\sqrt{6}}{3}\right) &= \frac{16}{3} \cdot \left(-\frac{2\sqrt{6}}{3}\right) + 3 \\ &= \frac{27 - 32\sqrt{6}}{9} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{極大値 } f\left(\frac{2\sqrt{6}}{3}\right) &= \frac{16}{3} \cdot \frac{2\sqrt{6}}{3} + 3 \\ &= \frac{27 + 32\sqrt{6}}{9} \end{aligned}$$



グラフは右上図のようになる。

**243**  $f(x)$  が単調増加である条件は、つねに  $f'(x) \geq 0$  となることである。

$$f'(x) = 3x^2 + 2px + 27 = 3\left(x + \frac{p}{3}\right)^2 + 27 - \frac{p^2}{3}$$

よって

$$27 - \frac{p^2}{3} \geq 0 \quad p^2 \leq 81 \quad \therefore -9 \leq p \leq 9$$

求める  $p$  の最大値は 9 である。

**244**  $f(x) = x^3 - 3ax + 2$  とおく。

$$f'(x) = 3x^2 - 3a = 3(x^2 - a)$$

(i)  $a \leq 0$  のとき

$$-a \geq 0 \text{ より } f'(x) \geq 0$$

したがって、 $f(x)$  は単調増加となり、 $x$  軸と一点のみを共有する。

(ii)  $a > 0$  のとき

$$f'(x) = 3(x + \sqrt{a})(x - \sqrt{a})$$

より、増減表は下のようになる。

$x$	$\cdots$	$-\sqrt{a}$	$\cdots$	$\sqrt{a}$	$\cdots$
$f'(x)$	$+$	$0$	$-$	$0$	$+$
$f(x)$	$\nearrow$	極大	$\searrow$	極小	$\nearrow$

ここで、「極大値  $>$  極小値」より  $f(x)$  が  $x$  軸と 1 点のみで交わるためには、**極小値が正**であればよい。

したがって

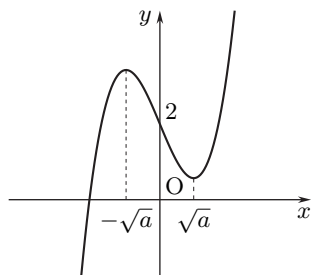
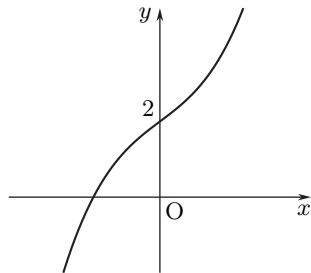
$$f(\sqrt{a}) = a\sqrt{a} - 3a\sqrt{a} + 2 = 2(1 - a\sqrt{a}) > 0$$

より

$$a\sqrt{a} < 1 \quad a^{\frac{3}{2}} < 1 \quad \therefore \quad 0 < a < 1$$

(i), (ii) より、求める  $a$  の範囲は

$$\underline{a < 1}$$



## 5章：微分法

## § 2：微分法の応用

**245**  $f(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d$  とおく。  $y = f(x)$  のグラフは、点  $(3, -2)$  に関して対称であり、 $x = 1$  で極大値をとるから、 $x = 5$  で極小となる。よって

$$\begin{aligned} f'(x) &= 3a(x-1)(x-5) \\ &= 3ax^2 - 18ax + 15a \end{aligned}$$

$f'(x) = 3ax^2 + 2bx + c$  と比較して

$$b = -9a, \quad c = 15a$$

したがって

$$f(x) = a(x^3 - 9x^2 + 15x) + d \quad \cdots (*)$$

となる。すると、 $f(3) = -2$ ,  $f(1) = \frac{2}{3}$  より

$$\begin{cases} f(3) = a(27 - 81 + 45) + d = -2 \\ f(1) = a(1 - 9 + 15) + d = \frac{2}{3} \end{cases}$$

$$\therefore \begin{cases} -9a + d = -2 & \cdots \cdots \textcircled{1} \\ 7a + d = \frac{2}{3} & \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

② - ① より

$$16a = \frac{8}{3} \quad \therefore a = \frac{1}{6}, \quad d = -2 + \frac{9}{6} = -\frac{1}{2}$$

ゆえに、(\*) より

$$\begin{aligned} f(x) &= \frac{1}{6}(x^3 - 9x^2 + 15x) - \frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{6}x^3 - \frac{3}{2}x^2 + \frac{5}{2}x - \frac{1}{2} \end{aligned}$$

よって

$$\underline{\underline{a = \frac{1}{6}, \quad b = -\frac{3}{2}, \quad c = \frac{5}{2}, \quad d = -\frac{1}{2}}}$$

